

会議録

会議の名称	岡山市障害者施策推進協議会（令和3年度第1回）
開催日時	令和5年5月18日（木）14時30分～15時35分
開催場所	岡山市役所本庁舎3階 第1会議室 （北区大供一丁目）
出席者	委員11人（別紙のとおり）
会議内容	別添次第のとおり
会議資料	別添のとおり（次第、資料）
会議録の作成方法	要点記録

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）	
1	開会 保健福祉局長 後河 正浩 あいさつ 委員紹介、事務局紹介
2	会長選出 齋藤委員を選出
3	議事 傍聴0人
	<p>(1) 第7期岡山市障害福祉計画及び第3期岡山市障害児福祉計画の策定について （事務局説明後、質疑応答及び意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第6期障害福祉計画の目標数値の達成状況、サービス見込量に対する実績について （委員）就労定着支援事業の利用者割合について、目標値とR3,4年度の実績に開きがあるが、目標が高すぎたのか、何か事情があったのか。 （事務局）目標設定につき、国が基本指針にて示した数値に基づいて設定。定着支援が十分進んでいない状況があり、分析した上でもう少し働きかけが必要と考えている。</li> <li>就労継続支援A型（以下「A型」）の実績減少は、事業所の減少等の影響によるものか。就労移行支援や就労継続支援B型（以下「B型」）の実績が伸びている一方で、就労継続支援A型が減少しているが、因果関係があるのか。 （事務局）A型事業所は、岡山県をはじめ全国7割近くが実質的には赤字で、工賃を賄うのが難しい状況。このため、A型からB型に移行されるケースはあるだろうが、A型から就労移行支援への移行はそれほど多くはないのではないか。</li> <li>保育所・認定こども園の障害児見込は、拠点園の数値なのか、または、障害児拠点クラスは設けていないが、障害児を受け入れている子どもの数値なのか。例えば、中学校区に1園拠点を設けるなど、乳幼児施設に厚いサポートができる体制を計画していただきたい。 （事務局）保育などの関係部署とも検討させていただきたい。</li> </ul>

(委員) 見込み量の出し方は全国一律に同じ形で、データを使って出すのか。  
(事務局) 市の実績に基づいて算出している。

・アンケート内容について

(委員) 0歳から18歳未満までが障害児として同じアンケートでよいのか。17歳は自分で判断できる年齢で、本人が回答する項目があっているのでは。18歳までは行くところがあるが、その後困ってしまうケースを耳にする。

(事務局) 児童福祉法に基づく障害児の福祉計画と障害者の福祉計画ということで、18歳未満については保護者向けにお尋ねさせていただく。

18歳以降の進路について、例えば支援学校を卒業された後についてなど、大きな課題だと認識しており、アンケートの検討もあるが、本人の意思を根拠とした取り組みについて考えていきたい。

(委員) 例えば、医療的ケア児の介護で働きたいが働けないといった状況等もあると思う。自由記載の前にもう少し設問を具体的に起こしてもいいのでは。

(委員) 強度行動障害は、判定後もあるが、予防的な関わりや対応が重要であり、そうした観点から家族などの意見を聞くことが重要ではないか。

(事務局) 強度行動障害は情報収集をやっておかないとと考えており、ご意見を取り入れながらお尋ねしていきたい。

(委員) どのような場所で差別や嫌な思いをしましたかという項目があるが、障害福祉サービス事業所は回答の選択肢に加えるべき。

また、虐待を受けたことがあるかであるとか、障害者差別解消法・障害者虐待防止法・通報義務を知っているかなどは把握した方がいいと思うので検討を。

(事務局) 選択肢は加えたい。虐待について、岡山市は虐待センターを設け、通報件数は増えているところだが、事業所職員だけでなく一般的なところへの周知や広報も考えていきたい。

(2) その他

(事務局から、次回は計画素案の確認になる。11月頃開催予定であることを案内した)